

熊本市中体連大会…

令和3年度の熊本市中体連大会は、6/19（金）から始まり、7/2（金）に実施された卓球競技で、本校生徒が出場する種目は終了しました。

新型コロナ感染防止対策のため、来場者の体調記録表等の提出や競技会場では人数制限があつて、例年のようにはいきませんでした。生徒の皆さんは附中力を十分発揮してくれました。みなさんに拍手を送りたいと思います。校長である私は、会場長以外の種目には応援に行くことができず、担当の先生からの結果報告に一喜一憂していました。引率の先生方、保護者の皆様大変お世話になりました。県大会に出場が決まったみなさんは、あと少しの時間を有効に使って、7月の県大会本番に向けて頑張ってくださいと思います。

～先輩から託され、後輩へ伝えたかったこと～

私自身これまで何度も経験した中体連大会ですが、その中で特に印象に残っている選手Aくんのことを紹介します。野球部を担当していたときのこと

です。当時B中学校は部員が少なく、その選手が入部しても20人に届かないぐらいでした。ですから、1年生であってもレギュラー相手に練習することになります。チームは、それなりの結果を残していましたが、中体連を最後に3年生が引退し、Aくんは1年生の秋から選手として試合に出るようになりました。彼には、目標としていた先輩がいました。同じ内野手で二遊間を組んでいた先輩です。その先輩も1年後には中体連を最後に引退しました。いよいよ新チームが始動し、練習にも熱が入ります。Aくんは部活が終わって家に帰るとすぐにやるがありました。それは、グローブの手入れでした。汚れを落とし保湿クリームを塗って、型崩れしないように保管します。毎日毎日、練習や試合があつた日は欠かすことはなかったそうです。そのグローブは、引退したあの先輩から譲り受けたものでした。

B中学校の野球部は各大会で結果を残し始めます。ついに県中体連優勝、九州大会に進みました。先輩のグローブを譲り受けたAくんも、チームのレギュラーとして頑張りました。九州大会準決勝、相手校とB中学校のエースが投げ合い接戦となりました。両チーム無得点で試合も中盤に進んだとき、相手の打球がセカンド後方に上がり、Aくんが背走して追いましたが、グローブに当たりヒットとなりました。それがきっかけで2点を取られ、決勝点となりました。Aくん、そしてB中学校の中体連大会が終わりました。終わったあとはチームの皆が泣いていましたが、誰もAくんのことを責めたりはしませんでした。

その日の夜遅くに自宅に帰ったAくん。家族も試合のことは話さずにいたそうです。すると、Aくんは、いつものようにグローブの手入れを始めました。それを見ていたお父さんは、明日から部活もなく、使うことはないのにと思っていたそうです。

翌日、野球部の引き継ぎを行い、部室等の整理整頓をして帰宅したAくん。自宅でも部活用具を片付けていましたが、あの大事に使っていたグローブがありません。父親がどうしたのか尋ねると、後輩に譲ってきたと答えたそうです。

1年前に先輩から譲り受けた大事なグローブ、グローブだけでなく大切なことを託され、彼はその気持ちを後輩に伝えたに違いないと思います。そして、自分なりに結果を受け入れ、けじめをつけることができたのではないかと思います。

楓
の
木

学校だより
第2号

2021. 7. 6

熊本大学教育学部

附属中学校

〈文責 山本〉